

【目次】

- 1 平成25年度愛媛県総合防災訓練を開催します！
- 2 愛媛県地震被害想定調査結果（第一次報告）について
- 3 防災ワンポイント情報「台風・豪雨からの避難」
- 4 「愛媛県防災メール」をご活用ください
- 5 「特別警報」の発表が始まります
- 6 県からのお願い・えひめ防災ニュースレターのお問い合わせ先



【1】平成25年度愛媛県総合防災訓練を開催します！

愛媛県総合防災訓練は、例年**9月1日**の「**防災の日**」に地方局管内持ち回りで、県と市町防災会議の共催により防災関係機関、民間協力団体及び地域住民が一体となって実施しており、平成25年度は**愛南町（南予地方局管内）**での開催となります。

近年は実際の状況に即した実働型の訓練メニューを取り入れて実施しています。愛南町は県が6月に発表した愛媛県地震被害想定調査結果（第一次報告）にて最大震度7・最大津波高16.7mとなっており、南海トラフ巨大地震が発生すれば大きな被害が予想されます。被害を最小限に食い止めるためにも日頃の訓練や関係機関との連携強化を図り、災害に備えるため地域住民の積極的な参加をよろしくお願いします。

当訓練は地震による被害が発生したことを想定し、防災体制の一層の充実強化、応急対策の機能向上を図るとともに、県民の防災意識の普及と高揚を図り、安心して暮らせる社会づくりに役立つことを目的としており、東日本大震災の教訓を踏まえた訓練を実施し、関係機関の連携強化を行っているところです。

▼実施概要（予定）

- 訓練日時 平成25年9月1日（日）9時30分～11時45分
- 訓練場所 愛南町
 - メイン会場：旧西海中学校（救出・救護訓練、避難所開設・運営訓練、ライフライン確保訓練）
 - サブ会場：船越漁港（救出・救護訓練、交通応急対策訓練）
 - ：四国福山通運(株)宇和島営業所、(株)レクザム愛南工場（救援物資供給訓練）
 - ：福浦漁港（孤立地区対策訓練）
 - ：特別養護老人ホーム「自在園」（避難所開設・運営訓練）
 - ：南レク城辺公園多目的広場（孤立地区対策訓練）
 - ：西海道路駐車場（救急搬送訓練）

今年度も民間企業・団体の施設を利用した訓練を実施します！

Check!

今年度の愛媛県総合防災訓練では、四国福山通運(株)、(株)レクザム、特別養護老人ホーム「自在園」の協力を得て救援物資の搬送や訓練場所の提供をしていただくことになっています。

民間企業の運送ノウハウや倉庫を積極的に活用し、物資の円滑な輸送を行うことができます。日頃の業務により培われたノウハウに加え、訓練を通じ災害に応じた活動を行うことが期待されています。

今年度の愛媛県総合防災訓練では、自衛隊、宇和島海上保安部、愛媛県消防防災航空隊及び愛媛県警察航空隊のヘリも訓練に参加することになっています。また、メイン会場では地震体験車による地震体験コーナーやちびっ子用自衛官制服の試着コーナーの設置などさまざまなイベントがありますので、是非お越しください。

(※当日の気象条件等により一部の訓練を取りやめる場合があります。ご了承ください。)

救援物資供給訓練の様子（平成 24 年度愛媛県総合防災訓練 新居浜市）



救出・救護訓練の様子（平成 24 年度愛媛県総合防災訓練 新居浜市）



▼県内各市町の総合防災訓練日程について

○今後の各市町の予定です。

市町名	実施日	場所	想定する災害
松山市	8月28日(水)	市内複数箇所	地震
	11月2日(土)	市内広域	地震、津波
今治市	8月25日(日)	玉川総合公園	風水害、地震、津波
新居浜市	10月27日(日)	イオンモール新居浜	地震、津波
西条市	10月27日(日)	丹原小学校	地震、津波
	12月8日(日)	西条南中学校	地震、津波
大洲市	未定	海岸地域	津波
伊予市	未定	未定	未定
四国中央市	9月8日(日)	市内4会場	地震、津波
東温市	10月20日(日)	東温消防前、重信川河川敷	南海地震
上島町	9月7日(土)	弓削小学校、体育館	東南海・南海地震後の津波
松前町	9月1日(日)	松前町立北伊予小学校	東海・東南海・南海沖巨大地震
砥部町	9月1日(日)	高市小学校	東南海・南海地震
内子町	12月1日(日)	小田城の台公園	地震
伊方町	9月1日(日)	伊方町民グランド	地震、津波、風水害、土砂災害
鬼北町	10月25日(金)	鬼北町防災センター	災害対策本部運営訓練
愛南町	9月1日(日)	旧西海中学校等(県と共催)	地震、津波

※詳しくは各市町防災担当までお問い合わせください。



【2】愛媛県地震被害想定調査結果（第一次報告）について

愛媛県では、去る6月10日に愛媛県地震被害想定調査（第一次報告）を発表しました。

今回の調査は、国の南海トラフ巨大地震による被害想定結果を踏まえ、県が阪神淡路大震災を受けて平成13年度に実施した地震被害想定調査について、最新の知見を用いて見直したものであり、市町ごとのより詳細な被害状況を推計し、地域の危険性を総合的、科学的に把握するとともに、今後、本県の防災対策を進めていくうえで必要となる基礎データとして活用することにより、事前の予防対策や地震発生後の応急活動体制の強化を図ることを目的としています。

南海トラフ巨大地震はひとたび発生すれば甚大な被害をもたらすことを常に視野に入れておく必要がありますが、その発生頻度は実は極めて低いことから、今回の想定結果を冷静に受け止める必要があります。

今回の想定は、現時点の科学的知見に基づく想定であり、決してこれ以上の規模で地震や津波が発生しないわけではないことも忘れず、「正しく恐れてほしい」と考えています。

1. 第一次報告の概要（H25.6.10公表）

【想定地震】

- ①南海トラフ巨大地震【M9.0（津波：M9.1）】
- ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（芸予地震）【M7.4】
- ③讃岐山脈南縁～石鎚山脈北縁東部（中央構造線断層帯）【M8.0】
- ④石鎚山脈北縁（中央構造線断層帯）【M7.3】
- ⑤石鎚山脈北縁西部～伊予灘（中央構造線断層帯）【M8.0】

【想定地震における最大震度及び震度面積】

想定地震	最大震度	震度 面積割合							
		7	6強	6弱	5強	5弱	4	3以下	
①南海トラフ巨大地震	7	1.7%	25.5%	68.8%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震	②北側	6強	0.0%	0.0%	1.3%	9.3%	50.7%	38.0%	0.7%
	②'南側	6強	0.0%	0.0%	0.6%	3.2%	49.4%	40.5%	6.2%
③讃岐山脈南縁～石鎚山脈北縁東部の地震	7	0.5%	1.8%	4.4%	11.0%	11.4%	28.6%	42.4%	
④石鎚山脈北縁の地震	7	0.1%	0.8%	3.9%	8.2%	11.7%	31.7%	43.6%	
⑤石鎚山脈北縁西部～伊予灘の地震	7	0.1%	2.7%	10.2%	32.0%	20.3%	33.9%	0.8%	

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

※詳細は、県のHPをご覧ください。

(<http://www.pref.ehime.jp/bosai/higaisoutei/higaisoutei24.html>)

2. 今後の予定について

第一次報告の結果を基に、今後、人的・物的被害、ライフライン被害、経済被害、対策を講じることによる被害軽減効果等の想定結果をとりまとめ、公表する予定です。

※参考 内閣府被害想定

	建物被害 (全壊棟数)	人的被害 (死者数)	上水道 (断水人口)	交通施設 (道路)	避難者数	経済被害 (資産等被害)
愛媛県	約 192,000 棟	約 12,000 人	約 130 万人	約 1,800 箇所	約 54 万人	約 10.9 兆円



【3】防災ワンポイント情報「台風・大雨からの避難」

昨年も県内では台風や豪雨が発生し、1人の尊い人命が失われたほか、家屋や、施設の被害も出ています。近年では、短時間で局所的に大雨が降る「ゲリラ豪雨」も多発しており、地震対策のみならず、風水害にも十分な対策をおこなう必要があります。ここでは、近年の風水害における人的被害について紹介させていただきます。少し注意をしていれば防ぐことができる被害もありますので、自分自身が避難する際の参考にさせていただければ幸いです。

1 台風・大雨の際の外出時に死亡事故が多発するケース



台風が接近するにつれ雨が激しくなると、「田畑（河川）の様子を見に行く。」と言って外出した方が、濁流に飲まれ死亡するケースがあります。相手は自然現象です。到底太刀打ちできる相手ではありません。田畑に不安があってもむやみに増水した河川には近づかないでください。

2 土砂崩れ等により避難が遅れて被災するケース



急傾斜地等の災害危険箇所では、降雨が続き地盤がゆるくなると土砂崩れ等の危険が高まります。災害危険箇所付近に居住する方は、気象庁等の降雨量情報に注意し、自宅にとどまることが危険だと思ったときは、市町の避難勧告を待つことなく、自ら避難所に向かうとともに、隣近所にも声をかけ避難しましょう。

3 避難所に向かう途中で被災するケース



大雨が続くと用水路等に枯木等のゴミがたまり、水が溢れ返るなど危険な状態になることがあります。兵庫県佐用町では平成 21 年の台風 9 号により、水路幅数十 cm の用水路から水が溢れ、自宅から避難所に向かう途中の町民が犠牲となったケースがありました。このケースでは自宅は倒壊を免れており、自宅 2 階に避難していれば助かっていたとも言われています。避難路に危険な箇所がないか事前に確認し、災害時には避難路の状況によって自宅の 2 階に避難することも考えてください。

4 河川の増水に気がつかず逃げ遅れて被災するケース



河川の下流の中州や河川敷でレジャーを楽しんでいて、急激な水量の増加に気がつかずに、中州に取り残されたり、最悪の場合、流されて死亡することがあります。下流の降雨が少なくても、上流では大雨が降っている可能性があります。河川付近でレジャー等を行う際は、小雨だからと油断せず、雨雲に注意しながら行うようにしましょう。

自分の命は自分で守る！
これが防災の基本ぞなもし！



【4】「愛媛県防災メール」をご活用ください！

県内の防災情報をお手持ちの携帯電話やパソコンに電子メールで配信する「愛媛県防災メール」を提供しています。**どなたでもご利用いただけます**のでぜひご登録ください。愛媛県ホームページで詳細な内容をご覧ください。

▼詳細についてはこちら↓

<http://www.pref.ehime.jp/bosai/bosaimail.html>

▼配信情報

地震情報、津波情報、警報・注意報、土砂災害警戒情報、河川洪水予報、週間天気予報、国民保護情報、その他お知らせ

▼登録方法

インターネット接続できる携帯電話やパソコンで仮登録用サイトにアクセスし、表示に従って登録してください。

<https://www.taisakuhonbu.com/bosaimail/ehimepref/>



▼注意事項

無料でご利用頂けますが、通信に要する費用（パケット料）は、ご利用される方の負担となります。

▼お問合せ

愛媛県県民環境部防災局危機管理課防災情報係

TEL 089-912-2318

Mail kikikanri@pref.ehime.jp

【5】「特別警報」の発表が始まります

気象庁はこれまで、大雨や津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけていました。今回、より甚だしい大雨や大きな津波等が予想され、重大な災害による危険性が非常に高まっていることをお知らせし、特別な警戒を呼び掛けるために、8月30日から新たに「特別警報」の発表を開始します。

特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。屋外の状況や、避難指示・勧告等に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

特別警報の詳細は、気象庁ホームページでご確認ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/tokubetsu-keiho/index.html>

お問い合わせ先

気象庁 松山地方气象台防災業務課

電話 089-933-3610



【6】県からのお願い・えひめ防災ニュースレターのお問い合わせ先

県では、みなさんの地域の防災に関する取り組みを紹介し、自主防災組織の活性化を図りたいと考えています。

あなたの町の防災の取り組みなどについて、教えてくださいね。

▼募集内容

○あなたの町のユニークな防災に関すること（人・防災訓練・自主防災組織など）

○あなたの自主防災組織の取り組み事例

○こんな事で困っている、苦勞している点または質問 など

※掲載資料、写真データの提供もお願いします。

▽お問い合わせ、情報提供および本ニュースレターについてのご意見は、下記までお願いします。

愛媛県 県民環境部 防災局 危機管理課 危機管理係

kikikanri@pref.ehime.jp

▽愛媛県HPでの防災情報はこちら

えひめの防災・危機管理ホームページ↓

<http://www.pref.ehime.jp/bosai/index.html>

自主防災組織の
取り組みを教え
てほしいっち
～！

こまっち

